

A区分・C区分共通
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和6年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

| | | | |
|----|----|----|----|
| 分野 | 音楽 | 種目 | 合唱 |
|----|----|----|----|

申請区分(申請する区分を選択してください。)

| | |
|------|-----|
| 申請区分 | A区分 |
|------|-----|

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

| | | | |
|---------|---|--------|--|
| 複数申請の有無 | 無 | 申請総企画数 | |
|---------|---|--------|--|

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

| | |
|--------------------|--|
| 複数の企画が採択された場合の実施体制 | |
|--------------------|--|

芸術文化団体の概要

| | | | |
|-------------------------|--|---|---|
| ふりがな 制作団体名 | こうえきしゃだんほうじんかんさいにきかい 公益社団法人関西二期会 | 団体ウェブサイトURL | https://kansai-nikikai.com/ |
| 代表者職・氏名 | 理事長 米田哲二 | | |
| 制作団体所在地 | 〒 540-0026 大阪府大阪市中央区本町2-3-11-601 | 最寄り駅(バス停) | 大阪メトロ 谷町四丁目駅 |
| 電話番号 | 06-6360-4649 | | |
| ふりがな 公演団体名 | こうえきしゃだんほうじんかんさいにきかい 公益社団法人関西二期会 | 団体ウェブサイトURL | https://kansai-nikikai.com/ |
| 代表者職・氏名 | 理事長 米田哲二 | | |
| 公演団体所在地 | 〒 540-0026 大阪府大阪市中央区本町2-3-11-601 | 最寄り駅(バス停) | 大阪メトロ 谷町四丁目駅 |
| 制作団体 設立年月 | 1964年 | | |
| 制作団体組織 | 役員 | 団体構成員及び加入条件等 | |
| | 理事長:米田哲二 副理事長:斉藤言子・小餅谷哲男・片桐直樹 理事:大谷圭介・片桐仁美 他13名 監事:薩摩和男 | 正会員:268名/準会員:231名 賛助会員:59名/会友:19名 合計577名 入会試験と活動実績により入会が認められる | |
| 事務体制 事務(制作)専任担当の有無 | 他の業務と兼任の担当者を置く | 本事業担当者名 | 井本斐 |
| 経理処理等の 監査担当の有無 | 有 | 経理担当者名 | 羽瀨祐子 |
| 本申請にかかる連絡先 (メールアドレス) | info@kansai-nikikai.com | | |

| | | | | |
|------------------------|---|--|--|--|
| <p>制作団体沿革</p> | <p>1964年に二期会設立の主旨とその活動に共感を得た京阪神に在住する声楽家達により「二期会関西支部」として発足し1979年に「関西二期会」と名称を改める。2010年に法人格を取得し「一般社団法人関西二期会」となり、さらに2011年12月26日付けで「公益社団法人関西二期会」となった。『フィガロの結婚』など、オペラの演目としてよく知られた作品の上演はもとより、『アルバート・ヘリング』（関西初演）『真夏の夜の夢』（関西初演）『るつぼ』（日本初演）等意欲的な作品を公演し、大阪文化祭賞3回、大阪府民劇場奨励賞3回、音楽クリエイティブクラブ賞4回、尼崎市民芸術奨励賞、トヨタ音楽賞、三菱信託音楽賞等を受賞。平成26年9月、第79回オペラ公演『魔笛』では第12回佐川吉男音楽賞を受賞している。</p> | | | |
| <p>学校等における公演実績</p> | <p>平成26年度 学校公演19公演（文化芸術による子供の育成事業） 平成27年10月 大阪府立大手前高校学校公演 平成27年度 学校公演18公演（文化芸術による子供の育成事業） 平成28年度 学校公演15公演（文化芸術による子供の育成事業） 平成29年6月 上宮太子中学・高等学校（音楽鑑賞会） 平成29年度 学校公演16公演（文化芸術による子供の育成事業） 平成29年10月 西宮市立瓦木中学校（音楽鑑賞会） 平成30年度 学校公演15公演（文化芸術による子供の育成事業） 令和元年度 学校公演8公演（文化芸術による子供育成総合事業） 令和2年度 学校公演6公演（文化芸術による子供育成総合事業） 令和3年度 学校公演1公演（文化芸術による子供育成推進事業） 令和4年度 学校公演9公演（文化芸術による子供育成推進事業）</p> | | | |
| <p>特別支援学校等における公演実績</p> | <p>平成14年 2月 滋賀県立八幡養護学校（芸術文化ふれあい教室） 平成19年11月 富山県高岡市立こまどり養護学校（本物の舞台芸術体験事業） 平成20年10月 門司市立特別支援学校（本物の舞台芸術体験事業） 平成21年10月 大阪府立視覚支援学校（本物の舞台芸術体験事業） 平成23年10月 兵庫県立芦屋特別支援学校（次代を担う子どもの文化芸術体験事業） 平成27年10月 長崎県立鶴南特別支援学校（文化芸術による子供の育成事業） 平成28年11月 富山県立しらとり支援学校（文化芸術による子供の育成事業） 平成30年10月 北海道紋別養護学校（文化芸術による子供の育成事業） 令和元年7月 沖縄県立森川特別支援学校（文化芸術による子供育成総合事業） 令和2年9月 長崎県立川棚特別支援学校（文化芸術による子供育成総合事業） 令和3年2月 大阪府立泉南支援学校（文化芸術による子供育成総合事業）</p> | | | |
| <p>参考資料の有無</p> | <p>申請する演目のWEB公開資料</p> | <p>有</p> | | |
| | <p>※公開資料有の場合URL</p> | <p>https://youtu.be/sJE8cZsoSXw （リンクのみの限定公開）</p> | | |
| | <p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p> | <p>ID:</p> | | |
| | | <p>PW:</p> | | |

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 公益社団法人関西二期会 】

| | | | |
|-------------------------------|---|-------------|-----------------|
| 対象 | 小学生(低学年) | ○ | / |
| | 小学生(中学年) | ○ | |
| | 小学生(高学年) | ○ | |
| | 中学生 | ○ | |
| 企画名 | 関西二期会合唱公演 | | |
| 本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付 | <p>●オープニング イタリア民謡「フニクリフニクラ」</p> <p>●童謡・唱歌メドレー ～大中恩生誕100年・中田喜直生誕101年を記念して～ めだかの学校(作詞:茶木滋、作曲:中田喜直)～犬のおまわりさん(作詞:佐藤義美・作曲:大中恩)～夏の思い出(作詞:江間章子・作曲:中田喜直)～大人マーチ(作詞:阪田寛夫、作曲:大中恩)</p> <p>●声が大変身! トランペット吹きの日(作曲:L.アンダーソン)</p> <p>●声を聴き比べてみよう 男声:ソーラン節(北海道民謡) 女声:ほたるこい(わらべ歌)</p> <p>●みんながんばれ! 小学校:勇気100%(作詞:松井五郎、作曲:馬飼野康二) 中学校:手紙(作詞作曲:アンジェラ・アキ) 小中共通:しあわせ運べるように(作詞作曲:臼井真) 小中共通:群青(作詞:福島県南相馬市立小高中学校平成24年度卒業生(構成・小田美樹)、作曲:小田美樹、編曲:信長貴富)</p> <p>一休憩10分ー</p> <p>●楽しい二重唱 猫の二重唱(作曲:G.ロッシーニ)</p> <p>●オペラってなあに? 『椿姫』より“乾杯の歌”(作曲:G.ヴェルディ) / 『カルメン』より“ハバネラ”(作曲:G.ビゼー) / 『カルメン』より“闘牛士の歌”</p> <p>●みんなで歌いましょう ワークショップの成果を発表(各学校毎の共演曲)</p> <p>●校歌 校歌斉唱/混声四部合唱による校歌</p> <p>●アンコール すべての山に登れ(作曲:R.ロジャース)</p> | | |
| | 公演時間 110 分 | | |
| 著作権、上演権利等の 許諾状況 | 各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否 | 該当あり | 該当コンテンツ名 楽曲 |
| | 該当事項がある場合 | 権利者名 JASRAC | 許諾確認状況 採択後手続き予定 |
| 演目概要 | <p>「関西二期会合唱団」は、関西を中心にソリストとして活躍する24名の歌手から結成され、オーケストラの定期公演や放送局主催の公演にも出演しています。映像や録音では味わえない圧倒的な迫力、歌手達の息遣い、繊細なハーモニーなど「生演奏ならではの体験」をしていただきます。</p> <p>オープニングにイタリア民謡の「フニクリ・フニクラ」、次に日本を代表する童謡や唱歌の作曲家 大中恩と中田喜直の作品から4曲をメドレーでお届けします。スキャット「トランペット吹きの日」、ア・カペラの男声合唱「ソーラン節」女声合唱「ほたるこい」と続き、勇気・元気をもらえる曲として「勇気100%」「手紙」「しあわせ運べるように」「群青」を歌います。</p> <p>後半は関西二期会の中心活動であり、総合芸術と言われるオペラへ興味を持ってもらいたいという思いから、「猫の二重唱」や歌劇『カルメン』から名曲を披露します。</p> <p>プログラムの最後には各学校で共演曲として取り組んでいただいた楽曲や校歌と一緒に歌うことにより、他者と共に物事に取り組み達成する力、その喜びを共有するコミュニケーション力を養うことができるプログラムとなっています。</p> | | |

| | | | | | | |
|--|---|--------------------|-------------------------------------|------------------|--------------------|---------------|
| <p>演目選択理由</p> | <p>オープニングから前半は原曲も替え歌としても親しまれる「フニクリ・フニクラ」、中田喜直の生誕101年・大中恩の生誕100年を記念して「めだかの学校」「犬のおまわりさん」「夏の思い出」「大人マーチ」をメドレーで演奏します。中田喜直と大中恩は戦中、戦後の童謡や唱歌を支え、発展させた日本に誇る作曲家であり、今も色褪せない作品の魅力を広く知っていただくことを目的としています。続く、テレビなどのメディアでも放映される「勇気100%」「手紙」や、「しあわせ運べるように」「群青」には、命の大切さや生きる勇気、音楽を通して「命」「絆」「愛」といった普遍的なテーマが歌われています。合唱ならではの重厚さ・力強さを通じて曲のメッセージを感じていただき、一緒に考える機会を持つことで、情操教育のきっかけとして豊かな人間性を育てていただきたいと考えています。プログラム中盤のスキヤットやア・カペラは、純粋な声の重なりが生む美しさと、人間の声という、最もシンプルな楽器の可能性を感じてもらいたいと考えています。他にも「オペラってなあに？」では、時代を超えて世界中で愛される名曲の中から各声種のソロがある曲を選曲し、演出も施してより本物のオペラに近い舞台をお楽しみいただけます。</p> <p>プログラムの最後は、毎年大好評を得ている混声四部合唱版「校歌」を演奏します。子どもたちにとって最も身近な、常時は単旋律で歌っている校歌が、編曲されてハーモニーを伴い美しくダイナミックに生まれ変わる驚きを感じていただきます。また、共演曲の共演と模範演奏を通して、子どもたちに演奏歌手と自分たちとの違いを感じ、発声や姿勢など、より良い歌い方を考えるきっかけを与え、皆で歌うことを通して想い出や仲間、家族、故郷など大切なものを想う気持ちを深めていただきたいと考えています。</p> | | | | | |
| <p>児童・生徒の共演、参加又は体験の形態</p> | <p>体育館の舞台下、フロア上にひな段を組んで頂き、できるだけ児童・生徒に臨場感のある近い距離で演奏します。歌手が演技をしながら児童・生徒の中に入って歌い参加者全員を巻き込んでのサプライズ共演を行ったり、歌の共演をしたりすることで、会場全体での交流を図ります。ひとりで歌うだけでは味わうことができない、一緒に音楽を創り上げているという意識、大勢で声を重ねた時に生まれる一体感や感動、達成感を感じていただきます。</p> | | | | | |
| <p>出演者</p> | <p>指揮：鈴木恵里奈 ピアノ：今岡淑子 合唱団 ソプラノ：武久優子、立塚夢子、四方典子、三村浩美、佐竹しのぶ、北川千尋 アルト：井上美和、永富真紀子、岸畑真由子、瀬戸口文乃、安本佳苗、名島嘉津栄 テノール：井上博史、山中雅博、西垣俊朗、島袋羊太、山本欽也、秋本靖仁 バリトン：大谷圭介、萩原寛明、萬田一樹、神田行雄、山崎孝、服部英生 (以上予定の為、同等の音楽家と変更することがあります。)</p> | | | | | |
| <p>本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む</p> | <p>出演者： 26 名 スタッフ： 2 名 合 計： 28 名</p> | <p>運搬</p> | <p>積載量： t 車 長： m 台 数： 台</p> | | | |
| <p>本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安</p> | <p>前日仕込み</p> | <p>無</p> | <p>前日仕込み所要時間</p> | <p>時間程度</p> | | |
| | <p>到着</p> | <p>仕込み</p> | <p>上演</p> | <p>内休憩</p> | <p>撤去</p> | <p>退出</p> |
| | <p>10:20</p> | <p>10:30～12:00</p> | <p>13:30～15:20</p> | <p>10分</p> | <p>15:20～16:00</p> | <p>16時00分</p> |
| <p>※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。但し、低学年の帰宅時間の兼ね合いで学校と相談の上、午前に行うことがあります。その場合は、8時半ごろ学校に到着して午前中に公演後、給食時間頃に退出いたします。</p> | | | | | | |
| <p>本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)</p> | <p>6月</p> | <p>7月</p> | <p>8月</p> | <p>9月</p> | <p>10月</p> | |
| | <p>10日</p> | <p>20日</p> | <p>10日</p> | <p>18日</p> | <p>20日</p> | |
| | <p>11月</p> | <p>12月</p> | <p>1月</p> | <p>計</p> | <p>123日</p> | |
| | <p>5日</p> | <p>20日</p> | <p>20日</p> | | | |
| <p>※平日の実施可能日数目安をご記載ください。</p> | | | | | | |
| <p>児童・生徒の 参加可能人数</p> | <p>本公演</p> | | <p>共演人数目安</p> | <p>全校児童・生徒対象</p> | | |
| | | | <p>鑑賞人数目安</p> | <p>全校児童・生徒対象</p> | | |



※令和4年度の公演で、感染症対策のためマスクで歌唱しております。



公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出がわかる写真)

※採択決定後、図面等の提出をお願いします。



【公演団体名 公益社団法人関西二期会 】

| 児童・生徒の 参加可能人数 | ワークショップ | 参加人数目安 | 6名 |
|---------------------------------|--|--------|----|
| <p>ワークショップ 実施形態及び内容</p> | <p>【小学校】 オープニングで児童の皆さんに馴染みのある曲として「さんぽ」を4人で歌唱し、メンバー紹介をします。メンバー紹介は、ソプラノ、アルト、テノール、バス、それぞれの声域で挨拶をし、各声部の魅力を感じていただけるようにと考えています。</p> <p>【中学校】 オープニングは、メンバー紹介からスタートし、まずは普通の話声で、次に声楽的に響かせた声で自己紹介をし、ソプラノ、アルト、テノール、バスのソロ曲と、四声で「花」を演奏します。</p> <p>【小中共通】 続いて、歌うための体の使い方や息の使い方、発声などを順に学んだ後、本公演で歌う共演曲の歌唱指導と簡単な指揮法の指導を行います(共演曲は予め各学校と相談の上曲目を決定いたします)。ここでは実際に体を動かしたり声を出したりする形で児童・生徒たちにも参加する場を多く設けます。</p> <p>小学校ではミニコンサートとなり、耳馴染みのある名曲で各声部の特徴を聴いていただき、音楽の楽しさを体感していただきます(中学校では最初に各声部を聴いていただいています)。</p> <p>最後に、小学校・中学校ともに質問コーナーを設けて児童・生徒の様々な疑問を募集・回答いたします。現在も精力的に活動する音楽家が質問に答えることで、児童・生徒がこれからの音楽に取り組むヒントになればと思っております。</p> <p>小学校、中学校それぞれでより効果的になるように、お伝えする内容や順番に変化を持たせております。</p> | | |
| <p>ワークショップの ねらい</p> | <p>ワークショップの最大の狙いは、合唱演奏について改めて「どのように声を出しているのか」「どのように曲を演奏することが重要なのか」を考えることを通じて、本公演で興味を持って鑑賞いただくことです。</p> <p>ワークショップでは、普段はソリスト(独唱者)として活動している歌手が実際にワークショップで歌い、体育館に響き渡る人の声を実感していただきます。普段の生活では聞くことのない声色だったり、どのような練習をして声の響きを出しているのかを紹介しますが、その“声”を育てるのは難しいことではなく、単純で簡単な訓練の積み重ねで誰でも可能になるのだということを知っていただき、より「オペラ歌手」を身近に感じていただけるようになると考えています。</p> <p>また共演曲を題材にして、曲の構成を考えること、そして合唱の醍醐味である、声を合わせることによる響きをより深く感じていた抱きたいと考えております。</p> <p>プロの歌声を聞き、声を出す方法の指導、共演をする本公演の共演曲の指導を実際に受けていただくことで、児童・生徒の参加意識を高めるとともに、今後の音楽活動へ生かせるように工夫しております。自分が歌うことについて改めて考えていただくことで、本公演の合唱公演をより楽しく、より深い理解を以て聴いていただきたいと思っております。</p> | | |
| <p>その他ワークショップに 関する特記事項等</p> | <p>ワークショップの大きな流れは上記のとおりですが、ご相談の上、各学校に合わせた形で実施いたします。</p> <p>特別支援学校での公演については、事前に各特別支援学校の先生と電話やメールにて綿密に打ち合わせを行い、生徒・児童と一緒に参加できる箇所を設け、なおかつ各学校のそれぞれの実情に対応可能なプログラムを考えます。また、公演時間の短縮、曲目の変更等も、生徒・児童の状況に合わせて個別に調整を行います。</p> | | |

本事業への申請理由

【公演団体名

公益社団法人関西二期会

】

| | |
|--|---|
| <p>本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施 するための工夫</p> | <p>①本事業に対する取り組み姿勢</p> <p>新型コロナウイルスのパンデミックも終息に向かっており、従来の生活が戻りつつありますが、一度失った交流が完全に戻るのは難しいことです。コロナ禍では人とのコミュニケーションの場が直接の対話からオンラインに移行し、SNSやビデオ通話のような関わり方が増えました。物理的な距離に関わらず、手軽に連絡を取ることができるといった便利さの裏で、他者と同じ空気を共有する機会、人間にとって大切な“共感力”を育む場が少なくなっているように感じます。</p> <p>人との触れ合いの場がより希少な現代において合唱公演を行うことは、音楽を通して人と人との繋がりを再確認し、感性を育む機会となります。また、「歌」は、作曲家や作詞家、歌い手の心を運び、聴く者に色々な感情を湧き起こし、SNSなどインターネットを介した関わりでは作り出せない素晴らしい交流の場を作ることができます。そのような心と心の交流の場を子どもたちと共有したく、令和6年度 学校巡回公演事業に申請いたします。</p> <p>本事業における合唱公演では、大人たちが真剣に取り組む舞台を子どもたちに見てもらい、その迫力を体感していただきたいと考えております。マイクを通さない磨き抜かれた歌声、重なり合うハーモニーが織りなす『生きた芸術』は、大人にも子どもにも優しい気持ちや勇気を与える力があります。</p> <p>プログラムには、子どもたちに耳馴染みのある合唱曲やオペラの名曲を取り入れながらも、「しあわせ運べるように」「群青」などの復興支援応援歌を歌唱し、「命」「絆」「愛」という普遍的なテーマを子どもたちと一緒に考えたいと思っています。命の大切さや、生きる勇気が湧いてくる合唱曲、声の重なりが生み出す一体感が伝わるようなアカペラの曲目、国境や時代を越えて愛される情熱的なオペラ曲を盛り込み、児童・生徒にとって一番親しみのある「校歌」を混声四部合唱に編曲し演奏するなど、子どもたちが音楽に親しみをもてるような公演になるよう、工夫しながら取り組んでまいります。</p> <p>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫</p> <p>まず初めに、実施する学校の担当の先生に資料をお送りし、ワークショップと本公演両方の大まかな流れや各公演でのご準備いただくものなどをお知らせします。その後、各公演の実施前までにタイムテーブルなど詳細な調整を重ねていき、不明な点など含め電話・メールでの連絡によって綿密にお伺い、打ち合わせをしております。</p> <p>プログラムにおいては、合唱公演をより効果的に楽しんでいただくために、実際に児童・生徒が授業で取り組んでいるまたは取り組む予定の合唱曲や興味のある曲を伺いながら共演曲を決めていきます。学校にもご協力いただいて公演までに選択した曲目を授業等の機会に練習していただき、ワークショップを通して「歌う」こと、楽曲そのものに対する興味を深めていただきます。</p> <p>本公演では出演者が司会進行も務め、子供たちにも分かりやすく演奏曲の解説をしながらプログラムを進めていきます。オペラの歌の内容やストーリーを理解しながら鑑賞していただくためにも、原語(イタリア語・フランス語など)で歌われるところを日本語で歌うなどの工夫もしています。</p> |
|--|---|